

令和5年度明蓬館高等学校学校評価について

国から構造改革特別区域計画の認定を受け川崎町が認可した明蓬館高等学校について学校評価を行いましたので公表いたします。

●根拠法令

構造改革特別区域法 12条5項

特区の認定を受けた地方公共団体は学校設置会社の設置する学校の教育、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、毎年度、評価を行わなければならない。

評価基準

4 = 優れている 3 = 良い 2 = 一部要改善 1 = 要改善

| 評価項目 | 評価における観点 | 評価結果 | 評価コメント |
|--------|--------------|------|---|
| 学校運営体制 | 教職員の資質・能力の育成 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・キックオフミーティングをハイブリット型で行い、各学習センターの強み、弱みを発表し、拠点運営の向上につなげることができた。 ・教員の資質向上のための研修として外部講師を招き、相手に伝わりやすい話し方・表情の作り方等を学んだ。 ・個別教育支援計画の作成の標準化、作成ツール等を開発・始動し、教員・支援員・心理相談員による多職種連携のスキルの底上げ、標準化が進んだ。 |
| | 生徒指導の状況 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・田川警察署員とスクールサポーターを招き「大麻」をテーマとした生徒向けの講習会を行った。 ・本校では年に2回三者面談を実施し、生徒情報を家庭と共有して教員と保護者が同じベクトルで指導支援できるように心がけた。 |
| | 地域との連携 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・本校では、町内のイベントにボランティア活動で参加し、地元の方々と交流を深めた。 ・全国各地のサポート校、SNEC・STECの学習センターでは、それぞれ地元密着、地域との連携を進展させている。 |

| | | | |
|----------|--------------|---|--|
| 施設・設備の状況 | 教室等の設置状況 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でサイバー空間における学びの場づくり、教職員と生徒が離れていても相談・支援のできる関係性を作るためのハード・ソフト・プラットフォームを運用して3年目に入り、生徒も職員もオンとオフ、ライブとリモートそれぞれを使いこなせる通信制高校になりつつある。 |
| 学習指導の状況 | 授業の状況 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・アバターと人工音声を活用するシステムを導入したことにより、生徒の受講意欲が向上した。 ・面接指導においては、教員たちは全国から集まる生徒を前に楽しく安心して学べる授業案作りに懸命に取り組んだ。 |
| | 適切な面接指導の実施 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染がぶり返す中で、保険加入やさまざまなケースに対応できるようマニュアル整備を行い、全国から来町する生徒たちが安全に面接指導を受けられるように務めた。 |
| | 問題を抱える生徒への対応 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・本校では、関係する自治体と定期的に情報共有を行い丁寧に対応したことにより、引きこもりから脱却することができた生徒が数名いる。 ・発達の課題を抱える生徒に対して、心理士による「個別教育支援計画書」を作成し、定期的にカウンセリングを行い、個に応じた対応をしている。 |

| | | | |
|-------------|--------------|---|---|
| 学校設置会社の経営状況 | 学校経営の安定性 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 目録圏4か所と博多を合わせた5か所の直営SNECに加えて岐阜と愛知・一宮のサポート校を直営化し、22か所のSNEC・STECサポート校、東海4県など共同してエリアマーケティングが展開できる段階になった。 ・ 転編入生を含め346名の生徒を迎え入れ、期間内の最大在籍生徒数は748名となり、全国の高校年次のスペシャルニーズに対応できる体制になりつつある。 |
| | 学校設置による経済的効果 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒数が順調に増えているため、面接指導の際は特区内で経済的効果を生み出していると言える。 ・ 在籍生徒の過半数が発達障がい等のスペシャルニーズを持っているが卒業生が福祉サービスの受給を不要とし、納税も可能とする一般就労者になる進路を実現し、経済的循環へ貢献できるよう学校経営をしている。 |
| | 学校設置による社会的効果 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育内容の評価に相応するように経営面でも黒字を継続し、前向きな先行投資ができる余力が生まれている。 ・ 元々高校がなかった区域に高校ができたため、他地域まで通学を余儀なくされた人たちの中で進路変更をし、本校に転学する生徒も多く、地元にある通信制高校として認知や評価を得た。 |